

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
		実施期間	S42 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト					
施策の総合的展開	5-2快速で暮らしやすいまちづくり 1公共交通網の確保				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられているが、少子高齢化やモータリゼーションの進展などの影響により旅客輸送人員が減少し、鉄道事業者の自助努力のみでは県内鉄道路線を維持し、駅舎のバリアフリー化など時代の新たな要請に対応してサービス向上を図ることが困難となっている。 ○北陸新幹線は平成9年10月に高崎・長野間が、平成27年3月に長野・金沢間が開業した。また、平成24年に着工された金沢・敦賀間については、平成34年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間については、平成28年12月、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいて「小浜・京都ルート」に決定されたところであり、今後は、一日も早い着工に向けて、駅・ルートの詳細調査や、整備財源の確保に向けた検討が進められることになっている。	29年度決算額	164,648 千円
		職員数	3.00 人

目指す姿	○地域の鉄道路線活性化のための取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対して支援することにより、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道路線の維持と機能向上を目指す。 ○北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。 (主な実施内容:鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、鉄道駅における段差の解消のために必要なエレベーターの設置等に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動、北陸新幹線の並行在来線であるしなの鉄道に対する支援など)
------	---

事業	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況										
		前年度繰越	111,531	51,986	20,000	52,185	No	成果指標	27年度	28年度	29年度					
予算額	当初予算	114,783	192,098	161,539	179,612	①	県内鉄道キロの維持	780.1km	780.1km	780.1km	780.1km	達成				
	補正予算	18,784	△ 41,753	35,294				②	重大事故の発生	0件	0件	0件	0件	達成		
	合計(A)	245,098	202,331	216,833	231,797					③	エレベーター等設置駅数	18駅	20駅	21駅	23駅	達成
コスト	Aの財源	一般財源	224,088	156,301	144,803	176,747										
		県債	21,000	46,000	72,000	55,000										
		国庫支出金														
		その他	10	30	30	50										
決算額(B)		190,085	175,425	164,648												
概算人件費	職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00											
	概算人件費(C)	24,828	23,742	24,306	24,306											
	概算事業費(B(A)+C)	214,913	199,167	188,954	256,103											

成果指標設定理由	①②県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、鉄道キロの維持と重大事故の発生数を成果指標に設定 ③H32年度までに1日の利用者3,000人以上の駅についてはバリアフリー設備を設置するという国の基本方針を達成するため、エレベーター等の設置駅数を成果指標に設定
----------	---

目標に対する成果の状況	①沿線住民、市町村、鉄道事業者と協働して利用促進や利便性向上に取り組んでおり、公共交通の基幹である鉄道路線のネットワークは引き続き維持されている。 ②鉄道事業者が実施する設備整備への支援を行い、鉄道設備に起因する重大事故は発生しなかった。 ③JR川中島駅、しなの鉄道小諸駅にエレベーターを設置し、利用者の利便性に寄与した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	①各鉄道路線の利用率、利便性の向上及び県内鉄道路線の維持 ②施設の老朽化や駅のバリアフリー化に係る鉄道事業者の設備整備に対する支援	①同盟会を始めた各沿線活性化組織と共に協働して、利用促進を図り、県内鉄道路線の維持に努める。 ②鉄道事業者の輸送サービス安全性確保、駅舎バリアフリー化の取り組み対し、設備整備の支援を行う。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1		鉄道振興対策事業費	①地域鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助金(対象事業者:4社) ②鉄道事業者が行う鉄道駅におけるエレベーター等の設置に対する補助金(対象事業者:2社) ③在来線を活性化するために沿線市町村等で組織された期成同盟会の負担金(対象団体:2団体)	2.00	159,739	162,848	177,812
2		北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進に向けて沿線都府県等で組織された期成同盟会の負担金	1.00	1,800	1,800	1,800
合計				3.00	161,539	164,648	179,612

事業改善シート附表

事業番号 02 05 02	事業名	鉄道振興対策事業費			29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施 状況	企画振興部		課・室	交通政策課			<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 ■点検					
		項目	実施方法					27年度 当初 (千円)	28年度 当初 (千円)		29年度			総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業 番号)	
細事業 No	細事業名						当 初 (千円)	当 初 (千円)	要 求 (千円)	当 初 (千円)	補 正 (千円)	決 算 (千円)	番 号	施 策 の 総 合 的 展 開	予 算 (千円)	実 施 年 度	主 な 点 検 区 分 結 果		
1	鉄道振興対策事業費	地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を行う 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を行う。 補助対象事業者：長野電鉄株、しなの鉄道株、上田電鉄株、アルピコ交通株	計画通り ○	92,336	169,948	139,389	139,389	35,294	122,498		5-2,1					02-05-08
1	鉄道振興対策事業費	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅における段差解消のため、必要なエレベーター等の設置に対して補助を行う 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】	鉄道駅における段差解消のため、必要なエレベーター等の設置に対して補助を行う。 補助対象事業者：東日本旅客鉄道株 ※H28年度からの繰越事業あり（しなの鉄道（株））	計画通り ○	20,000	20,000	20,000	20,000	0	40,000		5-2,1					〃
1	鉄道振興対策事業費	大系線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	補助金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動	・要請活動（12月） ・啓発、広報、利用促進活動	計画通り ○	150	150	150	150	0	150		5-2,1					〃
1	鉄道振興対策事業費	中央東線高速化促進広域期成同盟会	補助金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動	・要請活動（12月） ・啓発、広報、利用促進活動	計画通り ○	200	200	200	200	0	200		5-2,1					〃
2	北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進等に係る国等へ要請活動（春、秋） ・建設促進に関する調査研究及び広報等	・建設促進等に係る国等への要望活動（春・夏） ・建設促進に関する調査研究及び広報等	計画通り ○	1,800	1,800	1,800	1,800	0	1,800		5-1,1					02-05-07
2	北陸新幹線建設促進費	新幹線延伸を活用した経済活性化協議会負担金	負担金	・北陸との経済・観光交流会の実施	-	-	297	-	-	-	-	-		5-1,1					〃
合 計								114,783	192,098	161,539	161,539	35,294	164,648			0			